

第2回OBコンサート開催

■日時／平成9年3月23日(日) 午後2時開演
■会場／吹田市文化会館メイシアター 大ホール

出演者数、来場者数ともに 前回を下回る

第1回コンサートの閉会時に「次回は4年後に開催予定」と宣言した通り、4年後に時期・場所共全く同じ状況で開催された。

来場者数は352人で前回の約7割、会場は1400人収容の大ホールだけに客席の風景は閑散とした状態だった。OB会員の来場者が35名というのも運営者側にしては寂しい感否めないといったところだ。前回の比較データを4ページに掲載しているので参考までに。第3回、4回と継続していくのも会員の皆さんの積極的な参画を期待するところである。

1期2期が独奏で出演

出演者は1期から昨年度卒業の33期に至る67名で前回の8割弱。プログラムは独奏×5、二重奏×1、バロックアンサンブル、ラテンアンサンブル、大合奏の全9ステージ・プログラム・出演者名は2ページ参照。

第1部は広島在住の18期・末岡成基、井開隆広両氏の二重奏で幕開け。司会者の挨拶の後すぐに1曲目、武満徹の「不良少年」を演奏。演奏者紹介の後に2曲目、ペリナティの「ジョンゴ」を演奏した。この2曲はギター界では近年広く演奏されるようになったスタ



木村浩三さんの指揮による40人編成の大合奏

ンダード曲でタイムリーな選曲だったと思われる。
2番目は33期の浦田庄平氏の独奏で「アナトリア民謡の主題による変奏曲」。この曲はここ数年前から演奏されるようになったまだ馴染みの薄い曲だが、民族音楽的なメロディで理解されやすいため急激にギター界に浸透してきている。浦田氏は現役時代にギターコンクール・大学生の部で同曲を演奏し優勝しているだけに余裕のある演奏だった。33期の次は1期の根本善弘氏が登場。1期、2期のOBが独奏で出演する、それ自体が関大OB会の底力を見せつけられたような気がする。他大OBより賞賛されたのもうなずけるところである。根本氏の演奏曲は「アルハンブラの思い出」。至極の名曲である筈のこの曲も最近のアマチュアギター界ではほとんど演奏されなくなった。しばしギターから離れているOB諸氏や一般の観客にとっては大層喜ばれていたようだった。1部最後は「バロックアンサンブル」だが、アンサンブルといっても指揮者を立てる24名の合奏だ。指揮者は17期の森兼弘氏で、リコーダー、キーボード(チェンバロ音)も加えた。曲目はバッハのブラン



第 12 号

平成9年11月1日
関西大学ギタークラブ
OB会 発行

機関誌編集委員会

上田 新平(6期)

高木 健児(9期)

第2回OBコンサート プログラム

第1部

- クラシック二重奏 (1st.ギター) 末岡 成基(18期) (2nd.ギター) 井開 隆広(18期)
 - 不良少年(武満 徹)
 - ジョンゴ(P.ペリナティ)
- クラシック独奏 浦田 平庄(33期)
 - アナトリア民謡の主題による変奏曲(C.ドメニコ二)
- クラシック独奏 根本 善弘(1期)
 - アルハンブラの思い出(F.タルレガ)

第2部

- クラシック独奏 浅野 一則(10期)
 - グランソロ(F.ソル)
- バロックアンサンブル (指揮者) 森兼 弘(17期)
 - ブランドンブルグ協奏曲 第2番より、第1楽章・第3楽章(J.S.バッハ/森兼 弘編曲)
 - カノン(J.バッハ/フェルベル/高本 健児編曲)
- クラシック独奏 岩井 英二(2期)
 - イエスタデイ(P.マッカートニー&J.レノン/武満 徹編曲)
- フラメンコ独奏 早川 賢治(7期)
 - ファルカ(サビークス編曲)
 - ソレアス(三好 保彦編曲)
- ラテンアンサンブル (リーダー) 竹本 真一(9期)
 - 海と空(J.ロドリゲス/高本 健児編曲)
 - ブラジル(A.バリーゾ/高本 健児編曲)
 - キサス・キサス・キサス(O.ファレス/竹本 真一編曲)
 - エル・クムバンチェロ(R.エルナンデス/高本 健児編曲)

第3部

- 大合奏 (指揮者) 木村 浩三(19期)
 - くるみ割り人形より、花のワルツ(P.チャイコフスキー/木村 浩三編曲)
 - 小組曲より、メヌエットと行列(C.ドビュッシェ/木村 浩三編曲)
 - おもちゃの交響曲(L.モーツァルト/木村 浩三編曲)
 - 少年時代(井上 陽水/木村 浩三編曲)

全出演者 67名

1期	根本善弘(独奏)				
2期	岩井英二(独奏)	長谷川進(合)			
5期	宇野哲夫(合)	白井彰彦(合)			
6期	西尾保弘(合)	岩崎信彦(合)	上田新平(合)		
7期	早川賢治(独奏)	宮川真一(合)			
8期	中島晃(合)	峯下良子(合)			
9期	井上享(合)	竹本真一(合)	高本健児(合)	藤井隆(合)	
	中島るり(合)				
10期	浅野一則(独奏)	中村逸三(合)	藤原巧(合)		
11期	氏原進(合)	福本正明(合)			
12期	青木敏明(合)	夏目隆由(合)	山本直次(合)	小野益男(合)	
13期	吉岡努(合)	谷本陽男(合)			
14期	浦野豊彦(合)	山口勉(合)	福井康男(合)	江島茂(合)	
	市場信之(合)	安宅恒夫(合)	野中けい子(合)	梅垣昌子(合)	
	井坂佳弘(合)				
15期	小比賀裕見子(合)	楠本正行(合)	畑中典子(合)		
16期	坂田年正(合)	浜近由香利(合)	遠藤厚(合)		
17期	長谷川容子(合)	森兼弘(合)	大川賢一(合)		
18期	井開隆広(重奏)	末岡成基(重奏)			
19期	木村浩三(合)	稲谷朋彦(合)	木村雅子(合)	安田貞之(合)	
	泉一明(合)	前田佳直(合)			
20期	大坪剛朗(合)	本郷淳(合)			
21期	北島和彦(合)	米川敏明(合)			
22期	林信之(合)				
24期	福井篤実(合)	福井秀子(合)	秋野壮史(合)	秋野佳子(合)	
	宮崎久朗(合)				
31期	八雲純二(合)				
33期	浦田平庄(独奏)				
他	山本圭吾(12才)	小野綾希子(小2)	司会者・石崎みき		

※(合)=大合奏 (合)=ラテンアンサンブル (合)=バロックアンサンブル

以降とは交流があった為、今回は無償で応援に駆けつけて頂いたというもの。司会者にプロを起用した事より前回とは違う思い切ったステージ進行が可能となった。司会者がマイクを持って走り回り独奏者へのイン



バロックアンサンブル(指揮者は森兼弘さん)

デンブルグ協奏曲第2番とバッフェルベルのカノンという難曲だったが、出演者もかなりの「つわもの」揃いという事もある、そこそこのレベルに達したものと思える。



司会者の石崎みきさん

2部最初は、10期・浅野一則氏の独奏で「グランソロ」。浅野氏は「エスパーニャのオーナー」と「ギターの名手」という事で内外に於ても著名だが同コンサートでもこの独奏の凄さは多くの反響を呼んだと聞かされている。次に2期の岩井英二氏の独奏。1期の根本氏と同様、ステージに現れただけでも客席が緊張するほど威厳があつたという寸評であった。岩井氏はこの日の観客には耳なれた「イエスタデイ」を携えての登場だったが、同曲は世界的に名高い

武満徹の編曲によるもので和音・メロディ共に見事な流れを持った絶品だった。独奏の最後は、かつて関大の「花」とまで詠われたフラメンコで、そのまた英雄であつた7期の早川賢治氏だ。だが、その早川氏も今回の出演要請を受けるまで卒業後一度もギターに触れた事が無かつたという。出演を受諾してからリハビリを重ねて当日に備えたというが、そ

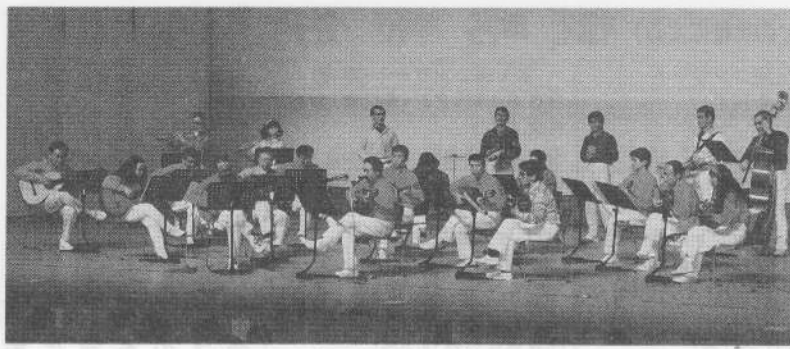
の見事な演奏は観客を釘付けにした。2部の最後は、やはり関大の「花」ラテンアンサンブルだ。レキントは9期の竹本真一氏で、彼はラテンの乗りは好きだがレキントは未経験。OBコンサート実行委員会の一員であり、レキント(リーダー)が名乗りでなかつた為に余儀なくレキントを弾くはめになった。このラテンアンサンブルには22名ものメンバーがいるにもかかわらず、毎回の練習日にも3〜4割のメンバーしか参加せず、土壇場まで実行委員会を脅かした。しかしながら、本番ギリギリになつてようやく形も整い関大の花は見事に開いた。曲目は海と空、ブラジル、キサス・キサス・キサス、エル・クンバンチェロの4曲で往年の

ラテンを彷彿とさせるものとなった。第3部は大合奏のみのステージ。司会者が登場し祝電や花束等奇贈品の紹介をした後、級張が上がるが舞台上には椅子とギターが置いてあるだけ。指揮者の19期・木村浩三氏の呼びかけにより演奏者が客席より登場するという奇技な演出だ。曲目はチャイコフスキーの花のワルツ、ドビュッシェ小組曲よりメヌエットと行列、おもちゃの交響曲。

今回のコンサートでは司会者に東京のフリーアナウンサークラブ所属の石崎みきさんを招聘した。石崎さんは大谷女子大学ギタークラブ出身で、同ギタークラブは関大OB7期

司会者にプロを起用

タビユー、又指揮者やリーダーとの掛け合い、特殊楽器の紹介などを盛り込みながら出演者と一体化した楽しいおしゃべりを交え、クラシック音楽の演奏会としては終始和やかなムードに包まれたコンサートだった。



ラテンアンサンブル

打上げは103名が参加

「打ち上げ」は同会館内のレセプションホールで、立食パーティーの形で行なわれた。会館内で行なわれた為参加者は出演者数を大幅に上回る103名が参加、この数字のみが前回コンサートを上回った。

決算報告

第2回OBコンサート

収入	●参加費 (出演者67名、うち夫婦3組)	661,000
	●参加費 (非出演者・14名)	140,000
	●祝儀	110,000
	●広告	95,000
	合計	1,006,000
支出	●ホール使用料	352,291
	●チラシ、パンフ等印刷代	140,800
	●郵送料	126,700
	●ビデオ・写真撮影代	100,000
	●テープ代(デモ用)130本分	20,000
	●コピー代	53,984
	●お礼(現役生)	30,000
	●交通費(司会者)	40,000
	●弁当代(現役生他負担分)	2,000
	●打上げ代(現役生他負担分)	101,934
	●花束代	5,150
	●雑費(当日備品等)	45,601
	合計	1,019,460
差し引き額		△13,460

カンパ・広告ありがとうございました

第2回コンサートは第1回目と比べ出演者の申込み数が激減(第1回は140名)し、スタートから盛り上がり欠けていた。実行委員会では「出演者の増大」と「経費の削減」を大きな課題として取り組んだ。出演者については強制するわけにもいかず、おのずから限界があったが、実行委メンバーの電話作戦により最終的には百名近くにこぎつけた(出演者の実数は67名)。経費については前回のデータを基に一項目ずつチェックして削減に努めた。郵送料やホール使用料等高騰している部分も多大であったにもかかわらず前回の七割位にまで納めるに至った。更にはOB諸氏並びに関係者の方々のカンパや広告掲載協力により1万円強のマイナスで決済する事ができた。

カンパ、広告及び贈答品等々ご協力頂いた、個人・団体のご芳名は次の通り(敬称略)。

(3期) 植田淳一、(4期) 林清治、(5期) 名倉武英、山本俊明、吉岡正代、(6期) 西尾保弘、山本雅子、上田新平、(7期) 河井武貞、咲田規子、永井正枝、早川賢治、7期一同、(9期) 稲生哲夫、高本健児、(10期) 浅野一則、小柳豊茂、10期一同、(12期) 石橋早奈美、(14期) 野中けい子、(16期) 田中寿彦、(17期) 森兼弘、(19期) 浅井悦子、フレット楽器オザキ、(株)ファナ大阪、グラナダ、エスパーニヤ、トップシンバル、ロゴス、猪居信之ギター教室、福田進一、間下正司、竹谷農園、関西学生ギター連盟、梅花女子大学ギタークラブOG会、大谷女子大学ギタークラブOG会、柏原市役所関大会。

現役生の皆様ありがとうございました

コンサートの運営に欠かせない舞台裏と受付要員は前回に引き続き現役生にお願いしました。春休み中にも関わらずご足労戴いた20数名の現役生諸氏に厚くお礼申し上げます。

第2回コンサートを終えて

【前実行委員長 12期 山本 直次】
コンサートを終え早や半年経過、残暑厳しき9月の中旬、我が「名誉終身幹事長」高本先輩から、「機関紙の紙面が空いているので適当に何か書いてスペースを埋めてくれ。」との依頼を頂き、薄れかけた「当時の記憶を思い起こし、思うままに書かせて頂きます。」
思い起こせば四年前、何故か酔いに任せ実行委員長を考へもせず引き受け、先ず同期の青木・夏目両氏を巻き込み、4期の今田先輩(後に転勤のため八島先輩にバトンタッチ)を始め多くのボランティア(ご尊命は後報)の方々に恵まれ、楽しく又充実した時を過ごせました(終わっ

たから言える事です……:実感)。そして祭りの後、何ら苦勞せず次期実行委員長に浦野氏(14期)が名乗り出てくれ、ホッとしている今日この頃です。
最初の思惑からは遙か異なり、度々重なる打ち合わせ(アルコールの有無に拘わらず)を経た後、3月23日の本番を迎え、高まる興奮と焦燥感に耐え、それなりに運営はまずまずと自負する反面、「第1回」に比べ参加者・入場者共々下回ってしま

第3回に向けて

【第1回コンサートが平成5年3月21日に開催され実行委員会では「次回開催時期」を準備活動等さまざまな状況を考慮の上、4年後とした。第2回」はその決定通りの開催となった。この事例に基づくと「第3回」は平成13年の3月頃という事になる。これまでの経緯に準ずれば会期2年前の平成11年3月頃に実行委

員会が発足、夏頃にリーダーや曲目年内に出演者や曲目等を内定、12年初旬より楽譜の作成、春に会期・会場が決定、夏頃から練習開始、13年3月本番という行程になる。
【第3次 実行委員会 メンバー募集】
第1次委員長は17期・森兼弘氏、第2次は12期・山本直次氏が就任したが、第3次委員長には14期の浦野豊彦氏が内定している。百人の人員と百万の金を動かす大変なコンサートをボランティアで運営する「実行委員会」という組織のご苦勞は言葉では言い尽くせないものがあるが、大変な分感慨もひとしおかと思える。あなたも活動してみませんか。申し込みは、前実行委員会メンバーまで。

(第1回コンサートとの比較による)概略報告

	第2回コンサート	第1回コンサート(参考)
出演者数	67名(申込者99名)	86名+聴録2名(申込者139名)
来場者数	352人 ◎OB来場者=35名(7.5%)	521人 ◎OB来場者数=42名(10.9%)
宣伝媒体等	●雑誌(現代ギター) ●チラシ(グラナダ、エスパーニャ Fana、フレット楽器オザキ 猪居ギター教室、心斎橋YAMAHA メイシアター)	●雑誌(現代ギター) ●チラシ(グラナダ、フレット楽器オザキ メイシアター)
招待状	大学ギター部22、ギター教室84	大学ギター部22、ギター教室78
アンケート	回収数34枚(9.7%)	回収数45枚(8.6%)
対OB*	回収数37枚	回収数42枚
打上げ	参加者数103名(内現役生22名)	参加者数93名(内現役生15名)
練習回数	パロック10回、ラテン10回、大合奏8回、(合同練習、合宿含)	パロック8回、ラテン8回、ポピュラー10回、大合奏6回、(合同練習、合宿含)
練習参加率(平均)	パロック(66%)、ラテン(49%) 大合奏(39%)	パロック(74%)、ラテン(72%) ポピュラー(64%)、大合奏(30%)
出演参加費	10,000円	8,000円
カンパ収入	9件、110,000円	17件、241,000円
パンフ広告	14件、95,000円	21件、165,000円
収入	1,006,000円	1,401,972円
支出	1,019,460円 ◎ホール代 352,291 ◎チラシ、パンフ印刷代 140,800 ◎お礼・交通費(現役、司会者) 70,000 ◎弁当代 2,000 ◎打上げ負担分 101,934 ◎ビデオ・写真撮影代 100,000	1,358,833円 ◎ホール代 284,489 ◎同印刷代 191,004 ◎お礼(現役、ロゴス、広告主等) 123,000 ◎弁当代 43,211 ◎打上げ負担分 41,370 ◎同撮影代250,000
収支	-13,460円	+43,139円

第2回コンサートで14期生のパワー本領発揮?

今回のコンサートに於て当初出演希望者の数があまりにも少ないので実行委メンバーで各期ごとに手分けして電話での「勧誘」をする事とした。14期生に関しては、12期の青木敏明氏が担当した。三回生と一回生という現役時代では何かと絆の深い関係にある為か、当初の参加申込み者が山口勉氏ただ一人であった筈の14期生がなんと一気に10名に膨れ上がったのである(内1

今回のOBコンサートではこの2人も出演、野中氏はパロックアンサンブルにリコーダーで出演した。

OB会の数々の行事に幹事の山口氏以外には殆ど顔を出す事なかった14期生だが第2回OBコンサートにて頭角を現したといえるかも知れない。第3回コンサートでは実行委員会の委員長として浦野豊彦氏が内定しており、14期生を核とした組織が発足される事になるだろう。益々のパワーが期待されるところだ。

平成9年度幹事会(議事報告) OB会組織に「管理部」を新設!

本年度の幹事会が去る7月6日(日)、午後1時よりエスパニーヤにて開催され、現役四回生2名を含む14名が出席した。現役四回生には次期OBという事でOB会の輪郭を理解して頂く目的により毎年出席してもらっている。出席者は5、19期と例年よりは狭い世代内に於ての開催となった。5期は代表幹事の名倉さんが福岡市赴任になっているため本年度より白井彰彦さんが代表幹事としてに就任する事となった。議長役は例年の9期・竹本さんが仕事の都合上運着のため、17期の森兼さんが代役を務めた。議題と内容は次の通り。

〈事業報告〉
平成8年7月〜平成9年6月のOB会の行事が各々担当者より報告された。10ページに掲載の事業報告は機関紙発行時より一年間のもの。

〈OBコンサート結果報告〉
前実行委員長の12期・山本直次さんよりコンサートの詳細が報告された。内容は全要・アンケート集計・収支報告・出演者の総合データ等、報告書としてB5判12ページの冊子にまとめられているので

希望者は前実行委員メンバーまで申し込んで下さい。

〈第2回独重演奏会〉
同演奏会の準備経過報告が主宰者である19期・木村さんより報告された。

〈その他〉として、一昨年より議題に上がっていた「パソコンの導入」の件が9期・稲生さんより報告された。OB会も会員数の増加に伴い管理業務が煩雑化してきた為、パソコンの導入を提

議してきたが予算上の問題で厚かましくも「会員よりの奇贈」に委ねてきた。結果7期の咲田さん、13期の岸本さん、19期の前田さんより申し出がありOB会もいよいよ本格的にコンピュータ管理体制へと進展した。

コンピュータ導入に伴い、当然オペレーターが求められる事になる訳だが19期の前田さんにムリをお願いする事となった。同時にOB会の正式な組織として「管理部」を併設、その役員として前田さんに就任して頂く事となった。



平成9年度幹事会出席者

- <5期>白井彰彦 <6期>上田新平 <9期>竹本真一、高本健児、稲生哲夫 <12期>山本直次 <13期>岸本孝司 <14期>山口 勉
- <15期>楠本正行 <17期>森兼弘 <19期>木村浩三 <19期>前田佳宣
- <35期>松下茂樹、塚田泰久

管理部設立にあたって

第19期 前田 佳直

19期の前田です。今回、OB会に管理部が設立されることになり、私が着任することになりました。宜しくお願い致します。

今回の経緯は、OB会がパソコンの寄贈を求めている内容の機関紙の記事を見たのがきっかけでした。ちょうど私の机の上に古いパソコンが邪魔になっていたのを捨てるに忍びなくて、9期の稲生さんの鉄工所に運び込み、何に使うのか話を聞くうちにパソコンが使える人が求められていることが判ったのです。

始めのうちは、長年使ってきたパソコンに第二の人生を歩ませる為にちゃんと動くか面倒をみるのと、OB会の仕事の手伝いを少しでもしようかな、と思っていただけだったのです。しかし、稲生さんはせっかく手伝ってくれるのなら役員になった方が経費（ほとんど無いに等しいそうです）も使えて都合が良いし役員会に推薦しといてあげると、と甘くささやかれ、私もそんなものかなと色気を出したのがこの結果です。

七月の役員会では、稲生さんの会費の集計の管理ソフト、高本さんの会員への発送業務で宛名印刷の省力化をしたいとの話が出され、又コンサートでのア

ンケート分析をしたい、果てはインターネットにホームページを作るのはどうか、等いろいろ意見が出ましたが、私としては年内中に会員名簿の整備を目標としております。これにより会費の管理と、宛名印刷ができる予定で当初の目的が達成できます。

本業が忙しい上に、期日が迫らないうと動けない性分ですので計画より遅れ気味ですが、ぼちぼちやっていきますのでご支援ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

OBの皆さん、ご利用下さい。

第13期 谷本陽男です。この度

ホームページ「たにせんへ ようこそ」を開きました。

管理部とは別で、OBの情報交換、交流をを計りたいと思います。メールや伝言板を利用してページを作っていきたいと考えています。HP、メールは次の通りです。



haruo-tanimoto	JDM07416 (main)
nifty	RXL14664 (sub)
E-mail	tanimoto@portnet.ne.jp
homepage	http://www.portnet.ne.jp/~tanimoto/

14期 同窓会

第14期 野中 けい子

平成9年7月20日、わが14期の同窓会が卒部20周年と祝して開かれました。幹事は山口君（当時のように君づけで失礼します）が宴会係、安宅君が名簿、出欠係という感じで大阪は難波「叙園」という中華料理店で円卓を囲みました。参加人数は16名で名簿にのっているのが21名だったのでとても高い出席率でした。

その日は梅雨もあけて、暑すぎるといふこともなく、私たちのようにさわやかに晴れた日で、私たち女性3人組は途中で待ち合わせて会場にむかいました。部屋に入るとすでにほとんどの男性軍は到着していて「オーツ」「ヤアーツ」という感じで迎えてくれました。実は来る途中で、誰々が来てるかなあ、と話したりしていたのですが、なんせ10周年の時は欠席したので、20年ぶりの人もけっこういるわけで、これはかなりオヤジはいつてもしょうがないかなあ、自分を棚にあげて考えていたのです。が以外にも、その「ヤアーツ」のふんい気、部屋の空気、学生時代と変わっていないのです。打上げコンパの日という感じでしょう

うか。それからの2時間はアツという間で、なつかしい話、おもしろい話がとびかかっていました。二次会はエスパニーヤへ全員で行きました。日帰りの予定だった名古屋の藤原君 10年ひと昔ということ、私たちが

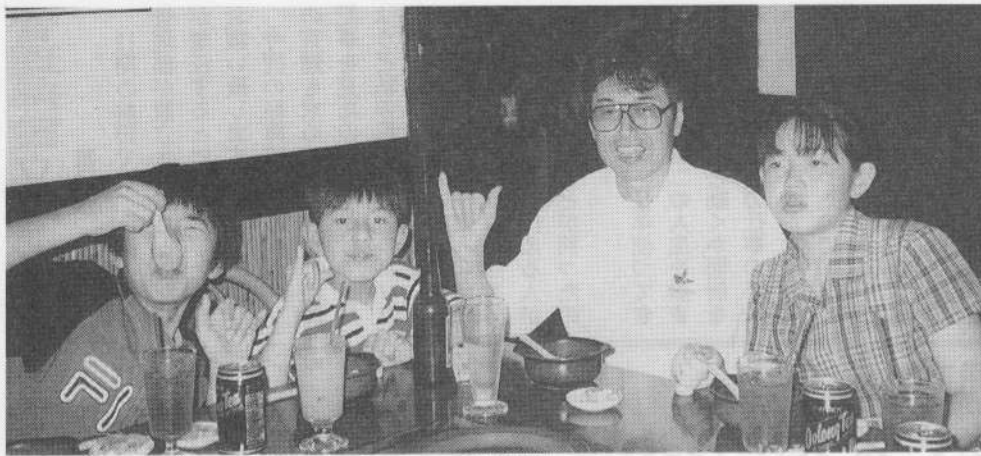


は、江島君が奥さんに電話で交渉して外泊を許してもらい二次会に行くことができました。さすが元部長は説得がうまい。エスパニーヤには9期・竹本さん、10期・岩岡さん、12期が開けるような気がしています。

ギターを再開しました。

第7期 河井 武貞

卒業以来、大阪を離れっぱなしの私にとって今年には画期的な年となりました。



子供たちと

というのはOB会の活動を知り、又20数年ぶりでフラメンコギターを再開したのです。

きっかけはOB会コンサート直前のリハーサルを見学、あんなに大勢のOBが集まり、又同期の早川君の素晴らしいフラメンコ演奏を聞いたからです。

早川君とは数年前、大阪出張の時20数年ぶりで再会しましたが、その時が傑作です、ホテルのロビーでお互い何度も顔を合わせながら気付けず20分後位にやっと会えました。(お互いに年を取ったんだ)

それから彼とは毎年一回定例の大阪出張の際会って、OB会の話聞きました。今年の3月に会った時、翌日のリハーサルのことを知り、仕事を早めに切り上げて大急ぎで駆けつけたらちょうど早川君の演奏が始まる直前でした。

現役時代を彷彿とさせる彼の演奏は、私にとって衝撃的でした。

卒業以来ほとんど手をつけていないけど何時かは再開しようと思っていたギター、彼の様に上手くはなれないだろうけど取り敢えず、地域のギタークラブに入会しました。

そして、6月に発表会

床知にて

第9期 宮崎 純一

大学を卒業して、気がつけば25年今春、長男が関大に入学することになり、25年ぶりに母校を訪ねました。関大前から正門へ、辺りの様子はすっかり変わっていたけれど懐かしさと共に当時の記憶が蘇ってきました。西日の入るムシ暑くきたないアパートで、セゴビアやブリームやウイリアムズのレコードを、すり切れるまで聞いていました。自由と時間は無

限に近く在り、無いのはお金だけの毎日で、ギターと旅に明け暮れていた学生時代。放浪癖が高じて3、4年の時は、殆ど大阪に居ず、何時のまにかクラブにも足が遠のきました。旅の果てに行き着いたのが、北海道の知床でした。根無し草の生活も何時のまにか少しづつ根が付いて、大自然の中、元気に暮らしています。今ではギターもホコリをかぶり、年に一度位出てきては弾いているのですが、指は動かないし、楽譜がないと何も弾けない状態です。唯一、暗譜しているのはソルの「月光」ぐらいで、森と湖の中、妙に合う曲なのです。

先日二十数年ぶりにギターをケースから出してみました。ケースの止め金は錆びて開けづらかったのですが、驚いたことにギターは何ともなく、持ち主のように色褪せてもいませんでした。私がギター部に入ったのは特に理由もなく、ギターが弾けたら「カッコイイな」という具合でしたから、無器用な上に音感も、リズム感も悪かった

第9期 福井 重子

目覚めたギター

でも億劫でした。でも良き先輩や、楽しい仲間と囲まれ辛い時もありましたが、何とか卒業するまで続ける事ができました。今振り返ってみると、ギター部に入っていないかったら、大学生活は単調で無味乾燥なものだったと思います。卒業してからの私はギターと

こんな生活の中で、息子が後輩になり、学生生活を同じキャンパスで過ごすのかと思うと感慨無量です。ギタークラブに入部すればいいなと思っていたのですが、ジャズ研に入っ

は無縁な生活を送ってきました。何とか結婚をし、二人の子供の親になり、仕事もしながらと、毎日忙しく暮らしてきました。今年長女が大学に入り、ギター同好会に入ったので、長い間眠っていたギターにもやっとおよびがかった次第です。娘に「ギター部だったの」にどうして弾けないの」と痛いところを突かれ、もう一度、ギターに挑戦してみようかなと(無理かも知れないけど)意欲だけ持ち始めたところです。どなたか教えてあげようというご奇特な方がおられましたらご一報下さい。

最後になりましたが、有志の方々のご努力により、長年OB会が存続しこれから益々発展されますことを心よりお祈り申し上げます。

北ドイツでの生活

第9期 仲 純子
(旧姓・宮浦)

卒業後のギター

第11期
氏原 進

飛行機の窓から見える赤レンガの家並みに感激し、始めてドイツの地を踏んだのは、道路も凍りつくほど厳しい寒さの昭和五十二年二月のことでした。以後、昭和五十五年十二月までの約四年間をハンブルグで過ごしました。

三月下旬のイースター(復活祭)ごろから雪どけが始まり、やっとまぶしい春が訪れます。雪の間から花の芽が顔を出し、冬の間、陽光に飢えていた人々がどっと戸外にくり出します。復活祭には、猫柳の木に色とりどりの卵が飾られ、庭で兎や卵型のチョコレイト探しをします。

風薫る五月になると、マロニエの花をはじめ、色々な花が咲きほこり、各家庭でも花壇の手入れに忙しくなります。マルクト(決まった曜日に街の中央広場で開かれる露天市場)へいくと、冬の間、乏しかった野菜や果物が嬉しくなるほど各種出廻り、バギーがひっきり返るほど、買い込んだものでした。

そして夏。私達は、さんさんとふり注ぐ陽光を求めて、休日ごとにハンブルグ郊外にあるブレイメンヤリユーベックへ、また、バルト海に面

ギターとの出会いは、中学の時、友人が弾く「禁じられた遊び」でした。左利きの私は疑いもなく左手で練習し、「この曲を弾くのは不可能だ」と感じてから早三十年、花のギター部を出てからも二十三年が過ぎてしまいました。職場の関係で滋賀県がホームベースになっていますが、十年前茨城県に転勤になった際、近所のギター教室で生まれて初めてプロに教えてもらう機会がありました。

「カルカッシのハ長調から始めましょう」と云われた時は少なからずショックでしたが、音の出し方の基礎からやり直したおかげで女房からも少しは聴きやすくなったとほめられました。

現在、草津市、守山市、大津市等在住のギター愛好家十数人で「湖南ギターアンサンブル」を結成しています。メンバーは四十才台後半が大半です。メンパーは四十才台後半が大半です。

するトラベミューンデなどへ行ったものでした。また、夏のパカンスには、ドイツ人のように一ヶ月もという訳にはいきませんでした。イタリア、スペインなど南欧へ、たっぶり太陽のシャワーを浴びに旅立ちました。ドイツの夏は、一ヶ月ほど過ぎ、秋が足早に訪れます。みるみるうちに木々が紅葉し、十月もすぎれば気温もぐっと下がってきます。ピール祭りも終わると、今度は待望のクス

多数ですが、最近メキメキ腕を上げてくるOL、ベテランフラメンコギタリスト、更にプロのギタリスト(グラナダにも出演された田中靖二さん)等多才なメンパーで、アンサンブルを中心に活動しています。いわゆる「好き寄り」の状態ですので、決まった指揮者や指導者はいませんが、和気あいあいとやっています。ここ数年は近所のグループとの合同演奏会や単独の演奏会も定例化し、他に公民館や自治会等の催しにも参加し、決行いそがしく活動しています。悩みは適当な楽譜が少ないことです。9期の竹本先輩、又宜しくお願ひします。OB諸氏の中にもお持ちの方がありましたら宜しくお願ひします。

ここで提案ですが、OB会で今までの楽譜の収集、リストアップ、貸し出し制度を検討して頂けないですか。ともあれ三十年間ギターを手放すことなく現在にいたっています。いまだに「禁じられた遊び」はむずかしいですがこの先も練習し続けようと思っっています。尚、ギターが好きで毎週土曜日午後、合奏の練習に出席できる方大歓迎です……(毎週出席する人は少ないので御心配なく)

マスシーズンがやってきます。一ヶ月前から日曜日ごと、縦の葉で編んだリースにローソクを灯していき、聖夜を迎えます。夜、各戸の庭に飾られた大きなツリーのイルミネーションが、なんと美しかったことでしょうか。年もおしつまり、ジルベルスター(大晦日)となると、夜の十二時を知らせる教会の鐘の音と共に、ドイツ各地で花火が打ち上げられ、また、新年が始まります。

湖南ギターアンサンブル(左から4人目が筆者)



- 新OBの紹介
本年度卒業の新OB・第34期は11名で、幹事は田中 亘さんです。OB総数は542名になりました。名簿を同封しましたので、ファイルに綴じて保管して下さい。
- 住所変更者案内
本年度の住所変更者一覧表を同封しました。新OBの名簿と区別する為、黄色の紙に印刷しております。こちらの方もファイルに綴じて保管して下さい。
- 「存じの方、教えて下さい」
毎年多くの方が転居されますが、転居先を中々ご連絡頂けないのが現状です。転居される場合出来るだけご連絡下さい。連絡先は本紙類の下に記載されています。なお、現在住所が分からない方々は次の通りです。ご存知の方はご連絡下さい。
- | | | | |
|------------|-------|-------------|-------------|
| 【1期】 藤原正敏 | 富岡洋一 | 【2期】 柳田周祐 | 秀沢治 |
| 【3期】 磯辺悠二 | | 【6期】 井口正 | |
| 【7期】 小島恵子 | 角野哲也 | 小合充雄 | 丸山美美子 |
| 【8期】 八坂正男 | 原田一男 | 【10期】 斎藤修 | |
| 【12期】 川島徹三 | 今江隆 | 東野隆彦 | 吉村美佐子 増田とみえ |
| 【13期】 小西洋子 | 小山よし子 | 【14期】 井口雅行 | |
| 【16期】 田村美佐 | 安達恵子 | | |
| 【18期】 上月孝一 | 秋里三杉 | 白川義勝 | |
| 【21期】 那須潤子 | | 【25期】 西島庸尋 | 岡田直樹 |
| 【26期】 沖野成徳 | 大槻純一郎 | 荒尾健司 | 喜多葉子 中谷浩平 |
| 【27期】 濱田勝成 | | 【28期】 上古代英武 | 米田孝史 |
| 【30期】 鈴木尚文 | 西田敏彦 | | |
- (以上39名)

自分発見ノ

第11期 福本 正明

「ボンゴやってみーひんか？」
から二十数年前、先輩の一言で私の人生は狂い出したのでした。
ギターが弾けるようになりたくて入ったのに、ラテン・パーカッションにはまってしまった私は一年後、ギターを弾かない部員になっていました。それ以来、いつたい自分は何かしたいのか、模索の人生が始まったのです。

二十代は訳が解からず、ただひたすら仕事に明け暮れる毎日。三十代になって家庭を持ち、このままでいいのとか一念発起、色々な資格に手



3人の子供たちと、ハウステンボスにて

～を推進するため
に、初代委員長としてボランティア部会を組織化し、地元でボランティア登録者を募ったり、市と協力して研修会を開いたりするかわら、組織の規約を作ったり、各種団体と調整をしたりと、福祉ネットワーク作りに右往左往する毎日となっていました。
妻もあきれて「たまには自分の家

わが家の5大出来事

第17期 山根 典昭

この原稿を書こうとして引き算をしたところ、卒業して17年。時のたつ早さに改めて驚いています。
大阪、名古屋、横浜へ転勤し、やと5年前に故郷の広島に帰って来ました。今では、残念ながらギターを弾くこともあまりありません。しかし、一年に数える程しか弾かないのにもかかわらず、未だに右のツメだけは伸ばしたまま常に手入れをしている自分をみると、「ギターへの執着心がまだあるのだ。」と感じるのです。機会があれば再開したいものです。

ところで、OB会の諸氏や同期の方々との連絡もあまり取っていません。のボランティアをしてよ！」と喚くありさま。こんな日々がいつまで続くことやら。そんなことで、今年のOBコンサートには出られないと言っているながら、先輩に泣きつかれると、またも出演。直前にボンゴを新調してしまつた私はどこまでお人好しなんでしょう。だけど、ラテンのリズムを聞くと、体がうずいてしまふんです。そして忘れられた私のギターは、今もダンスの中で眠り続けているのです。
十年後、私はいったい何をしているのでしょうか？

① わが家の5大出来事としてここ2年ばかりの近況報告をいたします。
② 3人目の子供誕生！
(平成7年8月)
なんと長女との年齢差が10才ということになりました(貧乏人の子沢山とはわが家のことです)。



上から、長女、二男、長男です

③ パソコン購入！(平成8年)
④ メガネをかけ始める！
(平成9年5月)
視力だけは昔から良かったのですが(顔と頭は別にして)。

⑤ トドが出現！(平成9年)
驚くなかれ、わが家にあの巨体の持ち主が現れたのです。あれは忘れもしないある日の朝、目ざめた私ははとなりに横たわっているトドを発見しびっくりしたのです。よく目をこらして見ると、なんと、

③ 長女が中学へ進学！
(平成9年4月)
念願達成ですが、実は裏話があります。永年の飲酒がたり、肝機能障害のためドクターストップ。ト・ホ・ホ。浮いた酒代でパソコンを買うことで大蔵省の許可が出ました(同期諸氏、飲みすぎに注意！)。

わが妻でありました。約20年前に知り合った頃は「野に咲く一輪の花」と思っていたのに……
(同期の方々は御存知だと思いますが、われわれは関大ギタークラブで知り合ったクラブメイトであります。)
最後に、OB会の今後の御発展をお祈りしてペンを置きます。

第2回独重奏演奏会

アピオ大阪小ホールにて開催ノ



去る9月28日(

日)、森ノ宮のアピオ大阪小ホールにて第2回独重奏演奏会が開催された。今回は新しい試みとして現役生より独奏3名、二重奏1組、計5名にも出演して戴き、OB+現役生の「合同演奏会」という形になった。OBが(開き直りのせい)結構ラフな雰囲気での演奏会にのぞんでいたのに対して、現役生の(真面目な)姿勢が対照的だった。ほぼ一カ月前にエスパーニヤにて行なわれたリハーサル時では思わしくなかった?一部の現役奏者も本番では別人のように仕上がっていた。当演奏会がそこそこのレベルを保持で

きたのもそうした現役生に助けられた部分があった事を感謝の意(ヨイシヨッ!)と共に報告します。

もう一つ報告しておかなければならないのは、当演奏会の主宰者であった19期の木村浩三氏が突然の病いで8月中旬より入院、2週間の入院予定のところ病院側の不始末により2カ月もの長期に渡る在院生活となった事。当演奏会の運営に誰よりも情熱を傾け、出演にも意欲的だっただけにザンネン至極である。

となれば前回主宰者の17期・森兼弘氏にゆだねる以外道はない、という訳で彼がその後を引き継ぐ事となった。思えば前回終了時に「死ぬまでやれ」と言われた、その方向に向かっていっているかのようにも見える。土壇場での数々の準備や人員の手配等々右往左往だったというがそれだけではない。あげくの果ては司会者の手配が間に合わず自らが司会役もかかって出演するため四重奏で出演のヒマな?9期・竹本真一氏にも応援結局出演者自身が司会役もするハメになった。それ以外にも当演奏会では出演者が各々の空き時間に受付け写真班、録音班を分担するなど、家内工業的演奏会となった。そのため充分な演奏が出来なかった、と言いたげな顔をしている者もいたようだが、2倍3倍返しを恐れてかその旨の「弁」は聞かれなかった。

さて、肝心の内容の方だが、構成としては独奏が10、2重奏が2、ギ

ター+フルートの2重奏が1、4重奏が1の計14ステージ。曲目(プログラムを参照)は至極スタンダードな名曲で飾られた。タイトル上では耳慣れない曲名もあるが、そちらの方がむしろ解りやすい曲であったため全体的に来場者はかなり楽しめたと実感するところだ。

司会進行も単に演奏者、曲目を紹介するだけでなく演奏者の簡単なプロフィールを面白おかしく紹介し、会場は終始笑いの絶えないリラックスした雰囲気につつまれていた。個々の演奏の内容について語るには紙面をとり過ぎるので割愛するが、ビデオテープ、カセットテープを頒布しているので希望者は10ページをご覧ください。

第2回独重奏演奏会プログラム

- | | | | |
|---------------------------|--------|----|----------|
| (第1部) | | | |
| 1. 月光 (F. ソル) | (1st.) | 坂田 | 年正 (16期) |
| 南の舞曲 (E. マーシュリー) | (2nd.) | 浅野 | 一則 (10期) |
| 2. トリーハ (F. M. トローバ) | | 西尾 | 保弘 (6期) |
| 3. スペイン舞曲第5番 | | | |
| 「アンダルーサ」 (E. グラナドス) | | 辰馬 | 毅 (35期) |
| 4. ゴヤの美女 (E. グラナドス) | | 小柳 | 豊成 (10期) |
| 5. ブラジル民謡組曲より、 | | | |
| パコーカ (C. マシャド) | (ギター) | 中島 | 晃 (8期) |
| | (フルート) | 中島 | るり (9期) |
| (第2部) | | | |
| 6. コルドバ (I. アルベニス) | (1st.) | 山縣 | 亮 (35期) |
| | (2nd.) | 村北 | 昌嗣 (37期) |
| 7. 「牛を見張れ」の | | | |
| 主題による変奏曲 (R. ナルバエス) | | 高本 | 健児 (9期) |
| 8. リュート組曲第3番より、 | | | |
| プレリュード (J. S. バッハ) | | 三浦 | 智洋 (36期) |
| 9. 練習曲第4番 (H. ヴィラロボス) | | 青木 | 朋幸 (11期) |
| 10. コウンパバ (C. ドメニコニ) | | 塚田 | 泰久 (35期) |
| (第3部) | | | |
| 11. 大序曲 (M. ジュリアーニ) | | 森兼 | 弘 (17期) |
| 12. 魔笛の主題による変奏曲 (F. ソル) | | 中村 | 逸三 (10期) |
| 13. サウダージ第3番 (R. ディアンス) | | 井開 | 陸広 (18期) |
| 14. 序奏とファンダンゴ (L. ボッケリーニ) | (1st.) | 浅野 | 一則 (10期) |
| 組曲「ドリー」より | (2nd.) | 竹本 | 真一 (9期) |
| 子守歌、ミ・ア・ウー (G. フォーレ) | (3rd.) | 坂田 | 年正 (16期) |
| | (4th.) | 井上 | 亨 (9期) |

※35期は現役四回生、36期は三回生、37期は二回生です。



4重奏

第2回独重奏演奏会を終えて

「支援あつがよかったです」

一昨年前に第1回演奏会を開催したが、第1回OBコンサート時の来場者が520人だった事をふまえた上で同演奏会の来場者数を出演者数の比率などを考慮し、およそ70%の350部のパンフレットを用意し、会場も600席のメイシアター中ホールを選択した。ところが蓋を開けてみると僅か100名という寂しい結果であった。

第1回OBコンサートと同じく全くの手探り状態でスタートした独重奏演奏会だったが、双方とも2回目ともなると若干感触もつかめ、今後は更なる「堅実なる経営」に努める事が要求されている。会場は前回の半額以下でおさまり、質も良く立地条件も良い森ノ宮のアピオ大阪小ホールに決定、必要経費もギリギリに押さえ運営の全てを出演者と現役生で賅った。同ホールのキャパは可動席で最大300席だが当日はゆったりと150席に設定した。

経費面ではOB出演者13名より各人1万円ずつ参加費として徴収、他はOB諸氏のカンパ等で第2回独重奏も無事終了する事ができた。

今回、カンパ等でご協力頂いた皆様(次の通り・敬称略)にお礼申し上げます。

1期 根本善弘、3期 植田淳一、
4期 林清治、5期 山本俊明、
6期 山本雅子、9期 稲生哲夫、
16期 田中寿彦、16期 遠藤厚、大
阪工業大学クラシックギタークラブ、
関西学生ギター連盟、神戸女学院大
学クラシックギタークラブ。

開催危うし?

第3回演奏会

独重奏演奏会は当初は4年毎とのOBコンサートの合間に設けるという事で始まった訳だが、より多くのOBが気楽に演奏できる場所を提供する事を目的とし、昨年度の幹事会にて検討され「毎年開催」へと改められた。

しかしながら、結果としては出演者は13名(前回は17名)、来場者が74名同100名、OB来場者が15名同20名と、確実に参画者は減少している。しかも出演者13名の内11名は前回の出演者でもある。

第3回独重奏演奏会も予定では来年初秋という事になっているが、現状のままでは開催は難しい状況にある。今回運営に関わったメンバーが再検討する事になるが、開催の決定に際しては各期幹事に連絡が入ると思われるのでその節は強力なバックアップを期待しております。

平成9年度 事業報告

(平成8年11月～平成9年10月)

■平成8年

- 11/9 (土) バロックアンサンブル第4回練習(エスパニーヤ)
- 11/15 (金) 第34回定期演奏会(吹田市文化会館メイシアター中ホール)
- 11/23 (祝) ラテンアンサンブル第3回練習(エスパニーヤ)
- 11/24 (日) 第8回現役合同リクレーション
(於:羽衣青少年センター、パーベキュー)
◎OB6名、家族7名、現役生9名、合計22名参加
- 11/30 (土) OBコンサート実行委員会第10回会議(エスパニーヤ)
- 12/15 (日) 第1回合同練習(服部緑地・野外音楽堂)

■平成9年

- 1/11 (土) バロックアンサンブル第6回練習(エスパニーヤ)
- 1/12 (日) ラテンアンサンブル第5回練習(エスパニーヤ)
- 1/18 (土) OBコンサート実行委員会第11回会議(エスパニーヤ)
- 1/19 (日) 第2回合同練習(服部緑地・野外音楽堂)
- 1/26 (日) 大合奏第5回練習(関大・第3音楽室)
- 1/31 (土) OBコンサート実行委員会第12回会議(さとみ)
- 2/1 (土) バロックアンサンブル第8回練習(阿部野市民学習センター)
- 2/2 (日) ラテンアンサンブル第7回練習(エスパニーヤ)
- 2/9 (日) 大合奏第6回練習(関大・第3音楽室)
- 2/14 (金) OBコンサート実行委員会第13回会議(さとみ)
- 2/22 (土)～23 (日) OBコンサート合宿(信貴山・柿本家)
- 2/28 (金) OBコンサート実行委員会第14回会議(さとみ)
- 3/2 (日) ラテンアンサンブル第9回練習(エスパニーヤ)
- 3/9 (日) 大合奏第8回練習(大淀コミュニティセンター)
- 3/9 (日) リハーサル(大淀コミュニティセンター)
- 3/15 (土) バロックアンサンブル第10回練習(阿部野市民学習センター)
- 3/19 (水) OBコンサート実行委員会第15回会議(エスパニーヤ)
- 3/20 (祝) ラテンアンサンブル第10回練習(エスパニーヤ)
- 3/23 (日) 第2回OBコンサート開催
(吹田市文化会館メイシアター大ホール)
- 4/19 (土) 実行委員会第16回会議(エスパニーヤ)、第2次実行委員会解散
- 5/14 (水) 第30回独重奏演奏会(吹田市文化会館メイシアター小ホール)
- 5/24 (土) ラテン+バロック合同打ち上げ(エスパニーヤ)
- 7/6 (日) 平成9年度幹事会(於:エスパニーヤ・14名出席)
- 8/30 (土) 第2回OB会独重奏演奏会リハーサル(エスパニーヤ)
- 9/28 (日) 第2回OB会独重奏演奏会開催(アピオ大阪小ホール)

●今後の予定

- 11/14 (金) 第35回定期演奏会(高槻現代劇場中ホール)
- 11/23 (祝) 第9回現役合同リクレーション
(千里中央公園・パーベキュー)

第2回OBコンサート 第2回独重奏演奏会

「ビデオテープ」「カセットテープ」

等々 頒布します。

本年度に開催された「第2回OBコンサート」「第2回独重奏演奏会」のビデオテープ、カセットテープをご入り用の方は次の要領にてお申し込み下さい。申し込まれてからの製作となりますので1～2週間のご猶予をお願いいたします。

■品名

- ① 第2回OBコンサート「ビデオテープ」
VHS T-160 Stereo
(1本) ¥3000+送料¥500
- ② 第2回OBコンサート「カセットテープ」
C-120 2本組
(1Set) ¥1000 (送料込み)
- ③ 第2回独重奏演奏会「ビデオテープ」
VHS T-120 Stereo
(1本) ¥1000 (送料込み)
- ④ 第2回独重奏演奏会「カセットテープ」
C-90 2本組
(1Set) ¥1000 (送料込み)

■お申し込み方法

- ①～④のNoを明記のうえ現金と共に(現金書留)にて下記住所までお申し込みください。
- ①番と②～④番の「申し込み先が異なります」のでご注意ください。

■お申し込み先

①

②～④

高本健児 宛

※「パンフレット」をご入り用の方は上記の高本健児迄270円分の切手を同封の上、お申し込み下さい。テープ類とは別便になります。

ギター・マンドリン・コンサート

去る10月11日(土)、京都市健康保

険組合保養所「きよみず」に於てギター・マンドリン・アンサンブルの演奏会が行なわれました。この「ギタマンアンサンブル」とは何なのかと言いますと、実は17期の森兼さんの呼びかけにより平成8年の2月に誕生したアンサンブルでメンバーは関大OBより森兼さんの他に9期の竹本、高本、19期の木村、稲谷のみなさん、マンドリンに平安女子短大OGより後藤文さん、平野恵美さんの二人、計7人のアンサンブルです。

デビュー演奏会は昨年2月、兵庫

県の相生市立中央小学校の体育館で全校児童と父兄の前で演奏するという大層なものでした。この時は子供さんを対象にした選曲で、「赤とんぼ」「デイズニー音楽」「おもちゃのチャチャチャ」、他には「コンドルは飛んで行く」をケーナという南米の笛を吹かれる教頭先生と、「野に咲く花のように」を5年生のリコーダー、手話演技と、「この広い野原いっぱい」を有志の先生のフォークギター、ヴォーカルとそれぞれ共演しました。最後は同校校歌を全児童の歌とともに演奏し、児童から「アンコール」の声が出るほどの反響を呼びました。

7月には淡路島・南淡町立図書館オープン・の柿落としに出演

ほぼ同じプログラムで一時間強ほどのステージを持ちました。

今回の演奏会は山科区の身体障害者のための「オリーブの会

共同作業所」という福祉団体の10周年記念式典に招かれたものです。当日はメンバーの内、木

村さんが入院中のため6人で演奏、作業所の合唱団のリクエストに添えて、地元のアリジナル曲である「この街で」、岡本真夜の「トゥモロー」などの共演を含む全7曲を演奏しました。「ギタマン」というと3対1

関西大学 ギタークラブ 現役コーナー

ここ数年の部員数は60人前後で安定してきています。現在は四回生が14名、三回生が4名、二回生が19名、一回生が18名の全55名で頑張っています。今年の定演は高槻現代劇場中ホールです。是非、ご来場下さい。

平成9年度の主な行事

1月10日	部会	5月14日	第30回独奏演奏会 (吹田メイシアター小ホール)
2月7日	さよならコンサート・ 追い出しコンパ	6月29日	第35回定期合同演奏会 (西宮アミティーホール)
3月11日~17日	春合宿(八千高原・つるや)	7月23日	前期総会
3月25日	立命館大学との交歓演奏会 (立命館大学 以学館)	9月9~16日	夏合宿 (長野・深雪野パークプラザ)
4月8日	新入生歓迎演奏会	11月14日	第35回定期演奏会 (高槻現代劇場中ホール)
4月26~27日	新入生歓迎 オリエンテーション		

第35回定期演奏会のお知らせ

■日時/11月14日(金) 午後6時開演
■場所/高槻現代劇場中ホール
阪急高槻市駅、南西へ徒歩7分(高槻警察南)

プログラム

【第1部】

- Y. M. O. アンサンブル
♪東風(トンプー) (坂本龍一) ♪過激な淑女(Y. M. O.)
♪コスミック・サーフィン(細野晴臣)
- クラシック独奏
♪黒いデカメロン(L. ブローウェル)
◆戦士のハーブ◆響谷を逃げる恋人たち◆恋する乙女のバラード
- クラシック二重奏
♪不良少年~2台のギターのための(武満徹)
♪スペイン舞曲第1番~歌劇「はかなき人生」より(M. D. ファリヤ)

【第2部】

- ギター・ジャズ・アンサンブル
♪ジャズ組曲 第1番(D. ショスタコーピッチ)
◆第1楽章/ワルツ◆第2楽章/ポルカ◆第3楽章/フォックス・トロット
- クラシック独奏
♪イギリス組曲 Op. 31 (J. W. デュアルテ)
◆プレリュード◆フォークソング◆ラウンドダンス
- 大河ドラマ・アンサンブル
♪八代将軍・吉宗 ♪いのち ♪独眼流政宗

【第3部】

- 大合奏
♪交響組曲「シェヘラザード」より
第2楽章/カランダール王子の物語(R. コルサコフ)

位の比率でマンドリンが多いのが通常ですが、このアンサンブルは異例の編成を組んでいます。マンドリンという楽器は2本だけでもギター5本とつりあうほどの音量が得られます。また、ギターがハイポジションのメロディーを速いスケールで奏でたり、トレモロも弾き、マンドリンが逆にスタカトを演じたりもします。ギターが単に伴奏を弾くだけにとどまらず、お互いの短所を補いながらより色彩感のある新しい形の「ギタマンアンサンブル」を目指しております。機会がありましたら、ぜひ聞きにきて下さい。

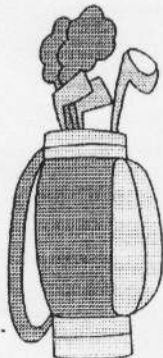
伍線会(ゴルフ会)

初の九州遠征のお知らせ

第17期 森兼 弘

平成4年に始まった伍線会ゴルフコンペも今回で10回目を迎える事ができました。これを記念して初の九州遠征を企てております。遠征地は10期・奥さんのおられる宮崎が有力で会期は12月8、9日頃を予定しております。幹事は航空運賃・プレー費・宿泊費を格安料金にて提供できる様ただ今交渉中であります。お金とヒマと体力を持って余している方は是非ご参加下さい。

いよいよ九州やで、名倉のおっちゃん、待とりや。



■参加ご希望の方は

幹事 10期・後田年春
17期・森兼 弘

※定員になり次第〆切らせて頂きます。

第8回現役合同バーベキュー大会

11月24日(日) 浜寺公園・羽衣青少年センターにて

恒例の現役合同リクレーションですが、第6回より3回連続「バーベキュー大会」をやってきました。今年もまたまたバーベキューに決定しています。過去には公園・史跡巡りなども行ないましたが、やはり飲み



過去8回の日・場所と参加者数		現役	OB	家族	合計
1	H元.11.19 芦屋ロックガーデン	6	7	3	16
2	H2.11.18 服部緑地	10	5	4	19
3	H3.11.17 関西サイクルスポーツセンター	7	5	5	17
4	H4.11.15 万博公園	11	5	5	21
5	H5.11.14 大和・飛鳥路	5	8	5	18
6	H6.11.20 淀川河川敷西中島公園	2	9	8	19
7	H7.11.19 千里中央公園	11	8	5	24
8	H8.11.24 羽衣青少年センター	9	6	7	22

コールは禁止、軽く静かに飲む位なら黙認する、というセンター側のお許しを頂き、また噂によ

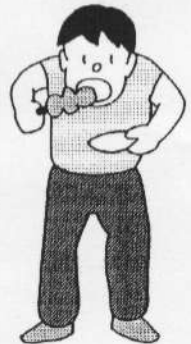
ると最近の現役生は「あまり飲まない」という事なので当地に決定しました。ところがどっこい、去年の現役生はひと味違っておりまして。飲むは食うは(食うのは元々覚悟のうえでしたが)の大騒ぎ、果ては「一気飲み」の掛け声が場内に響きわたる始末。幹事役の木村、竹本の両氏は場内スタッフの目を気にしながら回りをキョロキョロ、しながらも負けてられるかと言わんばかりにガブガブと飲んでおりました。「誰やく現役生は飲まんゆうたんは」そんな訳で、今年はおおきなく飲める「千里中央公園」に決まりました。詳細は下欄の通りです。多数のご参加をお待ちしています。

是非ご参加下さい

現役合同リクレーションは平成元年の幹事会でOBと現役生との間のギャップを埋める目的で提案され、その年の11月19日(日)に第1回目が行なわれました。会期は現役生の定期演奏会の翌々日曜日に行なう事としております。既に8回行なわれており、現役生・OBとも参加している人にすれば結構有意義な時を過ごしていると思われまます。未参加の方、今年是非ともご参加下さい。
過去8回のデータを記しましたのでご覧下さい。

第9回 現役合同リクレーション

バーベキュー大会



今年のバーベキュー大会は一昨年に開催した「千里中央公園」でまたまたやります。ミニアスレチックもあってとても楽しいところです。ご家族・友人と一緒にお腹を空かして来て下さい。

- と き：11月23日(日) 午前10時
阪急千里線<北千里駅>改札口集合
- と ころ：千里中央公園(豊中市新千里東町3)
(駅より徒歩10分・無料駐車場完備)
- 費 用：男性3000円、女性2000円
子供2000円(小学生以下は無料)
現役生は<超特価>1500円

(問合せ) 竹本 真一(9期)



<車アクセス> 新御堂筋から中央環状線を東方向に入り500m、最初の出口「北千里・南千里」を出て信号を左折700m、展望台案内板のある信号を右折し、すぐに右折(Uターン状態)、住宅街を登り300m、最初の4つ角を右折→駐車場です。